



松江の文化力を生かしたまちづくり条例の構成イメージ



松江の文化力

松江の文化力を支える七つの柱

古代から近代までの豊富な文化財	地域に根づく伝統文化	市民生活に根づく茶の湯文化	小泉八雲が五感で感じた松江の生活文化	市民とともに育む文化芸術活動	伝統文化芸術活動の拠点となる施設	宍道湖、堀川、中海等の松江的景観
国宝をはじめ有形・無形の文化財が数多く存在し、神話と重層的な歴史が同時に息づいている稀有な地。	お正月やお盆などに行われる、地域に根づく伝統文化は地域の個性や住民どうしの繋がりを育んでいる。	松江の茶の湯文化は、不昧公によって極められ、食文化・生活文化・美術工芸など様々な文化芸術を育てるとともに、日常の市民生活として根づいた。	小泉八雲が五感でとらえ、「神々の国の首都」の魅力として世界で紹介した、昔ながらの景観やそこで暮らす人々の有形・無形の生活文化が今も残されている。	音楽や演劇、美術、工芸など市民や創作者、各種団体などにより、培われ支えられている文化芸術活動。	伝統文化芸術活動を実践し、触れ、学ぶことができる場であり伝統文化芸術活動の拠点として必要な施設。	松江らしい風景として多くの市民が思い起こし、数々の文人が書き残した光景は、市民の心のよりどころであり誇りとなっている。
松江城,神魂神社,菅田庵,木幡家住宅,佐太神社,美保神社,国分寺跡,多古の七つ穴,楽山焼,諸手船,佐陀神能,オモツァン,ホーランエンヤ,古墳,勾玉等	左義長,トンドさん,節分祭,お大師さん,蓮華祭,盆踊り,奉納相撲,琴行列,ガッチ祭,諸手船神事,大漁節,関乃五本松節,島芝翫節等	食文化(料理・素材・和菓子・お酒・出雲そば),生活文化(茶道・華道・書道),美術工芸(陶芸・漆工・木工),建造物・建築技術(茶室・庭)等	民俗文化(加賀の潜戸,怪談),国際発信(『知られぬ日本の面影』,「神々の国の首都」),オープンマインド(開かれた精神,多文化共生)等	市民文化祭,市民美術展,国際演劇祭,プラバ少年少女合唱隊,山陰フィルハーモニー,郷土研究,園芸,太鼓,水燈路等	公民館,プラバホール,図書館,しいの実シアター,県民会館,歴史館,美術館,資料館,来待ストーン,出雲かんべの里等	宍道湖,堀川,中海,しじみ漁,朝日,夕陽,水郷祭,日本海,海水浴場,漁火,薬用人参,牡丹畑,干し柿小屋,湯けむり,文人墨客が描いた情景等

例示

めざすべき まちの姿

誰もが松江の伝統文化芸術を誇りに思い、心豊かになれるまち。

文化財の保存・活用	伝統文化の継承	日常生活として親しむ	オープンマインドの尊重	文化芸術活動の継続	伝統文化芸術に触れる	「水の都」の風景継承
有形・無形を問わず数多く存在する「文化財」への理解を深め、保存・管理を行うとともに、新たな活用の推進を図り、継承していくまち	地域に根づく伝統文化を「地域の宝」として継承できるまち	幅広い分野に影響を与えている「茶の湯文化」を、あらゆる世代が様々な形式で、日常生活として親しむまち	自分だけの価値観で物事を解釈せず、多様性を尊重する心「オープンマインド」により、様々な価値観を認めあうまち	市民により主体的に取り組まれている文化芸術活動を誰もが一層推進し、活動者・担い手・指導者・文化芸術コーディネーター・享受する人たちが育ち、多様性が尊重される、活気あふれるまち	伝統文化芸術活動の拠点施設として適切に管理され、誰もが親しみ、伝統文化芸術活動を実践することができるとともに、伝統文化芸術に触れ、学ぶことができるまち	多くの文人が「水の都」と書き記し、市民の心のよりどころで誇りとなっている風景が継承され、100年後も変わらず、安らぎを与えられるまち

柱に共通する六つの取組の視点

知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える
知る機会の充実・教育調査及び研究	担い手、活動者、指導者、コーディネーター等の育成・支援	保護や保存、継承、顕彰情報発信	価値の創出、新たなモノ・コトを生み出す	性質や動きが十分に発揮できるように、柔軟に使う	伝統文化芸術活動への直接的・間接的な支援

松江市伝統文化芸術振興計画(基本方針・基本計画)

松江市伝統文化芸術振興審議会【評価・検証】